

2025年度 グループホーム西宮の沢・望

地域連携推進会議録

日 時：2025年11月11日（火）

会 場：北愛館 多目的室

対象住居：グループホーム西宮の沢・望

参 加 者：社会福祉法人愛敬園理事長

社会福祉法人愛敬園法人本部長

グループホーム西宮の沢管理者（報告者）

グループホーム西宮の沢サービス管理責任者（司会進行・報告者）

利用者代表 2名

保護者代表 2名

地 域 代 表 2名

福祉に知見のある方 1名

経営に知見のある方 1名

グループホーム西宮の沢生活支援員 1名（記録）

会議報告

1. 開 会

司会により地域連携推進会議の開会宣言

2. 挨 拶

理事長より、開会の挨拶

～資料の確認～

3. 出席者紹介

時計回りで自己紹介

4. 報 告

(1) 地域連携推進会議について

配布資料を使用しながら、地域連携推進会議の目的について説明

(2) グループホーム事業説明

配布資料を使用し、グループホーム西宮の沢・望の事業説明と収支報告

【構成員より】

利用者代表 A：食事は美味しく食べている。特に好きというメニューはない。グループホームでの買い物は冬に入るため、身支度のものを購入する時にはお金のことも考えて購入している。

利用者代表 B：今年は特に暑くて、エアコンを設置してもらえて良かった。週末は職員と一緒に買い物に行っている。セルフレジに代わっているお店も多く、職員と一緒に練習して今では一人でできるようになっている。

経営分野代表：収益が赤字ということは経営側、保護者にとって心配になるかもしれないが、全体の収支で見れているのは良いこと。将来の事を見据えて考えているところが良い所だと思った。

(3) 地域とのつながり作り

配布資料を使用し、地域とのつながり作りについて報告

【構成員より】

地域代表：意見は特にない。寒くなるから身体に気を付けて過ごしてほしい。古い人間なので、何かあればいつでも教えてあげます。町内会のお祭りの時に受付を行っており、今年は職員と利用者数名で参加していたので、来年声をかけてくれれば対応してあげます。

(4) 利用者が安心して地域で暮らすための取り組み

配布資料を使用し、利用者が安心して地域で暮らすための取り組みを報告

【構成員より】

保護者代表 C：グループホーム余暇活動の内容が年間予定表でわかるのは良いなと感じている。薬の管理については、自宅では「飲んだ」と言っても実際には飲んでいないことがあり、自宅では薬のカラを入れる場所を決めて保護者が確認している。服薬はしっかり出来ているか心配している。
→会議後の施設見学で事業所の服薬管理をみていただく事となる

保護者代表 D：余暇活動の数が多いと感じており、楽しみが多くて良いなと思っている。

利用者代表 A：休日はしっかり休みたいなという気持ち。

福祉分野代表：ヒヤリハット、事故報告が少ないというのは職員の努力、利用者さんの努力だと思う。実習生の受け入れカリキュラムがしっかりしており、倫理観が高い実践をしている事業所だと感じている。虐待の研修をしっかりとしているのもこの事業所らしさと感じている。虐待はいつどこで起きるか、何が要因か？知識面なのか環境面なのかが分からない。人事の採用で今後は海外の人材も予想される。見て分かる環境を追及して作り上げ、それを積み上げていくことが大切かなと感じている。

全体を通して

理事長：地域に愛される、地域の皆さんと共にを念頭に活動してきている。これからも利用者さんと共に進んでいきたいため、これからもご意見・ご尽力をお願い致します。

本部長：職員の確保が大変。食事を作る世話人の確保。人数よりも私たちが一緒に働きたいと思える人を探しているが、将来的に維持していけるかは不安な部分である。

福祉分野代表：介護分野は外国人学生の力が必要となっている。

社会の変化が思っているより早いため、このような会議で実践などの報告ができれば良いと思います。

5. 閉 会

会議終了後、グループホーム西宮の沢→望の順番で施設見学を行っています。